

クレシードとGSXが、セキュリティエンジニア育成で連携を強化

～GSXの「セキュリスト (SecuriST) ® シリーズ」を活用してセキュリティ人材を育成～

クレシード株式会社(本社:東京都台東区1-34-9、代表取締役社長:鈴木 達、<https://www.creseed.jp/>、以下、クレシード)は、グローバルセキュリティエキスパート株式会社(本社:東京都港区海岸1-15-1、代表取締役社長:青柳 史郎、証券コード:4417、<https://www.gsx.co.jp/>、以下、GSX)とともに、GSXが提供する「セキュリスト (SecuriST) ® シリーズ」を活用し、セキュリティ人材を育成するための“セキュリティエンジニア育成プロジェクト”を開始したことをお知らせいたします。



■育成プロジェクト開始の背景とクレシードの資格取得の目的

企業・組織では、コロナ禍を契機にリモートワーク等のニューノーマルな働き方が推奨され、対応するネットワーク環境の整備やシステムのクラウドサービス利用などのデジタル化が進展しています。デジタル化が進む一方で、業務環境の変化を狙ったサイバー攻撃が頻発しています。攻撃者は、リモートワーク用に導入した製品やインターネット経由で接続したアプリケーションなどの脆弱性を悪用し、社内システムに不正アクセスして情報を窃取したり、乗っ取ったPCやサーバを踏み台にして外部に迷惑メールを発信するなど、被害を増大させています。

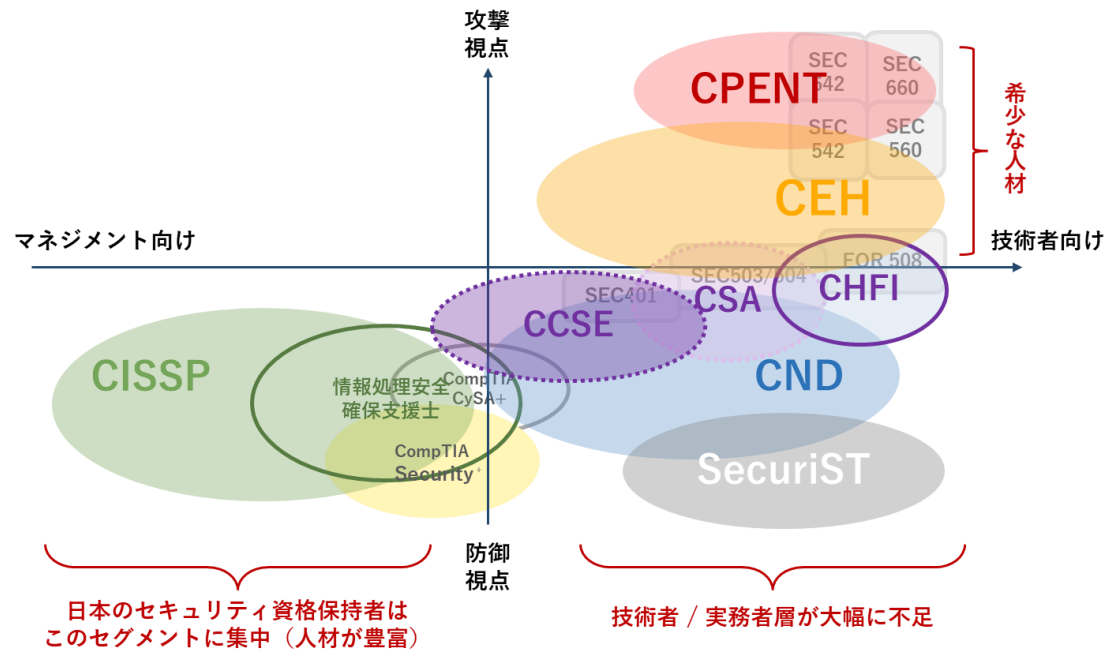
このような状況を踏まえて、サイバー攻撃の脅威から企業・組織を守るセキュリティ対策と、それを実行するセキュリティ人材が求められています。企業・組織におけるセキュリティの優先度が高まる中、クレシードとGSXは、企業間連携を更に強化し、クレシードのITエンジニアをセキュリティ人材へと育成していくべく、GSXが提供するセキュリスト (SecuriST) ® シリーズを活用し “セキュリティエンジニア育成プロジェクト”を開始しました。

クレシードは、中堅・中小企業のお客様を中心にユーザーの視点で考え行動し、顧客満足を提供する「ユーザーイン型」の情報システム開発、サポートサービス事業を展開してきました。クレシードでは、開発システムのWeb化やクラウド化の案件増に伴い、自社のITエンジニアがWeb特有の脆弱性を理解することや、お客様に安心してネットワークを利用していただくために、セキュリティに関する実践的な技術とスキルを習得することができるセキュリスト (SecuriST) ® シリーズの受講を決めました。

セキュリティを意識したシステム構築やサービス提供を実践していく人材を育成し、サイバー攻撃によるお客様の被害を最小限に抑えていくことで、お客様が安心してビジネスに集中できるIT環境を提供し、お客様に満足頂ける事を目指します。一方GSXは、クレシードのITエンジニアがセキュリティ技術とスキルを正しく習得することができるようサポートしていきます。

■GSX が提供しているサイバーセキュリティ資格の位置づけ

攻撃視点か？防御視点か？
マネジメント向けか？技術者向けか？



GSX では各種コースウェアについて、縦軸に「攻撃視点」～「防御視点」、横軸に「マネジメント向け」～「技術者向け」のマッピング定義をしております。

国内のセキュリティ資格保持者は「防御視点」かつ「マネジメント向け」エリアに集中しており、「技術者向け」かつ「攻撃視点」エリアにおける技術者や実務者層が大幅に不足しています。そのような市場環境を変えるべく、プラス・セキュリティ人材の育成にも注力しております。

■セキュリスト (SecuriST) ® 認定脆弱性診断士とは



GSXセキュリティ教育講座セキュリスト (SecuriST) ®シリーズでは、これまでの技術者向けの資格講座に加え、新たに営業職・プリセールス職向けの教育講座として「ゼロトラストコーディネーター」をご用意しました。製販共にセキュリティについて体系立てた知識を学び、共通言語化すること

で、お客様の事業にセキュリティ要素を加えて提案・提供することや、お客様のセキュリティ事業の立ち上げをご支援します。

認定脆弱性診断士は、情報システムのセキュリティテスト（脆弱性診断）に必要な技術やスキルをハンズオン含むトレーニングで身に付け、さらにそのスキルを認定試験で認定する仕組みになります。本認定は、JNSA (NPO日本ネットワークセキュリティ協会) 配下の日本セキュリティオペレーション事業者協議会 (ISOG-J : Information Security Operation providers Group Japan) のセキュリティオペレーションガイドラインWG (WG1) 、および、OWASP Japan主催の共同ワーキンググループである脆弱性診断士スキルマッププロジェクト (代表 上野 宣 氏) で定義しているスキルマップの「Silver」レベル相当の知識、技術を身に付けていることを認定するものです。認定試験を受験し、合格することで「脆弱性診断士」として認定されますので、人事や発注に関する定性的な評価にもご活用いただけます。

また、セキュアWebアプリケーション設計士は、Webアプリケーションをセキュアに構築するための要件や設計を学ぶことを目的としています。講座では、Webサイトを取り巻く現状を学ぶことから始まり、Webシステムに対する攻撃手段とその仕組み、安全なWebアプリケーション開発のための必要な要件と設計の具体例を学ぶことが可能です。

- セキュリスト (SecuriST) ® シリーズ詳細はこちらから
<https://www.gsx.co.jp/academy/SecuriST.html>
- セキュリスト (SecuriST) ® シリーズご紹介動画はこちらから
<https://youtu.be/7KvdJ7FI4wk/>

■クレシードのセキュリスト (SecuriST) ® シリーズの受講者実績について

セキュリスト (SecuriST) ® シリーズは、2021年の開講以来、エンドユーザー企業様をはじめ、Sler企業様、官公庁様、セキュリティ専門企業様など、数多の企業様にご受講いただいています。

クレシードでは、認定脆弱性診断士とセキュアWebアプリケーション設計士を受講しております。

- クレシードの認定ネットワーク脆弱性診断士公式トレーニングの受講者インタビュー詳細はこちらから
https://www.gsx.co.jp/academy/WebAppNWSecurityTesting/casestudy/creseed_02.html
- クレシードの認定Webアプリケーション脆弱性診断士公式トレーニングの受講者インタビュー詳細はこちらから
https://www.gsx.co.jp/academy/WebAppNWSecurityTesting/casestudy/creseed_01.html
- クレシードのセキュアWebアプリケーション設計士の受講者インタビュー詳細はこちらから
- <https://www.gsx.co.jp/academy/SecureWebApplicationDesigner/casestudy/creseed.html>

◆クレシード株式会社

社名：クレシード株式会社 (CRESEED Corporation)

本社：〒111-0053 東京都台東区浅草橋 1-34-9

代表者：代表取締役社長 鈴木 達

資本金：2,000 万円

設立：1990 年 5 月

従業員数：51 名

事業内容：企業の DX (デジタルトランスフォーメーション) 推進を支援し、IT をマネジメントしてサービス提供を展開しています。システム開発、インフラ環境構築、ホームページ制作の他、企業が必要とする IT やネットワークに係るさまざまなソリューションを提供し、お客様のビジネスをサポートしています。

コーポレートサイト：<https://www.creseed.jp/>

◆グローバルセキュリティエキスパート株式会社について

社名：グローバルセキュリティエキスパート株式会社

東京本社：〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディアム4F

西日本支社：〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-1-9 淡路町ダイビル8F

西日本支社名古屋オフィス：〒451-6040 愛知県名古屋市中区牛島町6-1名古屋ルーセントタワー40F

代表者：代表取締役社長 青柳 史郎

証券コード：4417

上場証券取引所：東京証券取引所グロース市場

資本金：485,000,000円 (2022年3月末)

設立：2000年4月 (グローバルセキュリティエキスパートへの商号変更日を設立日として記載)

コーポレートサイトURL：<https://www.gsx.co.jp/>

※本文中に記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

【本リリース内容に関するお問い合わせ先】

クレシード株式会社 経営企画本部 企画部
TEL : 03-3861-1311 MAIL : official_info@creseed.co.jp

グローバルセキュリティエキスパート株式会社 経営戦略本部 マーケティング部
TEL : 03-3578-9001 MAIL : mktg@gsx.co.jp